

市報 やまぐち

2001 1/1 NO.1283

CONTENTS 主な内容

インタビュー21
じぶんと出会うまち

JANUARY
Communication Paper Yamaguchi



インタビュー21

じぶんと出会うまち



インタビュー



インタビュー



いよいよ21世紀が幕を開けました。新しい世紀は、私たちにとつてどのような世紀になるのでしょうか。夢と希望に満ちた新世紀の始まりに、ここ山口市で、新しい自分を発見してみませんか。

市では昨年、西暦2010年までのまちづくりの基本方向を定めた「第五次山口市総合計画」を策定し、「新しい自分と出会い、自分らしい生き方を実現できるまち」を目標に掲げ、新たなまちづくりを始めています。

今回は、さまざまな分野で活躍し、自分らしい生き方を実践しておられる市民のみなさんに新しい世紀への意気込みなど抱負を語っていただきました。

「新しい自分と出会い、自分らしい生き方を実現できるまち」が第五次山口市総合計画の目標です！

◇山口市のホームページ（<http://www.urban.ne.jp/home/cityyama/>）に第五次山口市総合計画を掲載しました◇



田中蘭さん（西京高校3年生、大内）夏の国体100メートルバタフライ少年女子A優勝。

夢と刺激を
3歳で体力づく

今、全国で「魚つきの森をつくろう」という運動が起こっています。これは、豊かな森を育てることで海も育つという考え方からです。榎野川流域活性化交流会は、山の人、川の人、海の人が交流することでお互いを理解し合い、力を合わせて山口の自然を守っていくことを目的に設立しました。モットーは「みどりの海をとりもどせ」です。自然と一緒に進歩する21世紀であつてほしいです。

みどりの海をとりもどせ

岩本和美さん（山口漁業協同組合長、秋穂二島）昨年結成の榎野川流域活性化交流会の会長。





山口市議会議長 秋本邦彦

謹んで新春のお喜びを申し上げます。
新しい世紀の扉が開かれた今日、社会経済情勢の変動は著しいものがあり、これに柔軟に対応できる新しい発想が必要となります。

本市は、昨年「第五次山口市総合計画」を策定し、個性あふれる中核都市の実現に向け、諸施策を積極的に進めているところであります。

市議会といたしましては、本格的な地方分権の幕開けとなりました今日、市議会の果たす役割の重要性をより深く認識し、政策立案機能の強化並びに議会運営の改革や活性化に一層の努力をしてまいる所存であります。

また、本年は7月14日から「山口きらら博」が開催されますが、山口市の魅力を発信する貴重な機会であるとともに、元気のある本市のまちづくりへつなげていきたいと考えております。

皆様の力強いご指導、ご協力をお願い申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。

賀春



山口市長 佐内正治

新年あけましておめでとうございます。
新しい年とともに21世紀が幕を開けました。
昨年の国勢調査で本市の人口は、初めて14万人を超える、県都としての確かな発展の足音を実感することができました。私たちは、この歩みをさらに確実なものにして、21世紀を築いていかなければなりません。

市は、昨年、2010年までのまちづくりの基本方向を示す「第五次山口市総合計画」を策定しました。「新しい自分と出会い、自分らしい生き方を実現できるまち」を基本目標に掲げ、21世紀の新たなまちづくりを始めています。特に、「交流」「個性」「創造」「環境」「参画」をまちづくりのキーワードとして、重点的に事業を進めていくこととしています。

希望に満ちた21世紀の山口市を、市民の皆様と一緒にになって築いてまいりたいと考えていますので、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

りのため始めた水泳。練習のつらさも、今では充実感を感じるようになりました。昨年9月、とやま国体では自己最高記録で優勝できました。

4月に、日本選手権水泳競技大会が開催されます。この大会は、今年、福岡で開催される世界水泳選手権の選考会になります。これから、世界をめざして頑張ることで、後輩や子どもたちに「夢と刺激を与えていきたい」と考えています。21世紀は、「努力を重ねている人たちが、今以上に力を發揮できる環境」が整えないと私は思います。

独自性のあるパン文化を

大阪、福岡でヨーロッパを中心としたパン文化を学び、20世紀最後の年に「地元でパン屋」という夢が叶いました。これからは独自性を出しながら、パンを広めていきたいです。また、仁保をもっと多くの人に知つてほしいので、仁保の活性化にも力添えしていきたいです。飾る気も焦る気もないでの、ありのままの自分にできることをやっていきたいと思います。焦るのと急ぐのは違いますからね。



栗林功治さん（道の駅「仁保の郷」のパン工房オーナー、仁保）

大庭理恵子さん（山口中央高校3年生、大歳）昨年8月、ネパークに簡易水道を設置するJRC海外派遣事業に参加。

大庭理恵子さん（山口中央高校3年生、大歳）昨年8月、ネパークに簡易水道を設置するJRC海外派遣事業に参加。



国際協力は本当の理解から

ネパークで水道管を埋設するための溝を掘る手伝いをしました。深さ約90センチ長さ10数メートルを、数人で約3時間かけて掘りました。機械でやればすぐできることを、自分の手を使って掘った意味を考えることで、自分で使うことを考えてみたんです。

そうしたら、本当の国際協力は、相手が本当に困っていることを理解しないとできないことがわかりました。だから私は、実際のふれあいを大切にし、身近な地域福祉に貢献できる社会福祉士をめざします。

「大殿ホタルを守る会」は、市街地を流れる一の坂川で、ゲンジボタルの見られる環境を守り育てる活動を行っています。地域で河川清掃、ホタルまつりなどを行い、川を愛する心を広めています。これからも、地域が一体となつて、ホタルが生息する環境を守っていきたいと思います。そのため、「21世紀を担う若い人たちにも、「身近な生活環境を守る意識」を育んでもらいたいと思います。



江崎友香さん
(大歳小学校6年生、大歳)
第16回全国小学生陸上競技交流大会で女子走幅跳の部2位。



小林榮治さん（山口県指定無形文化財鷺流狂言保持者、白石）

鷺流の正確な伝承にがんばります

昨年は、念願の国立能楽堂の舞台に立つことができ、また、文化財保護法50年を記念して文部大臣から表彰をいただきました。これも、多くの鷺流狂言理解者のご支援のお陰と感謝しています。今年は、専門家の方のお骨折りで、県内に残る鷺流狂言の伝書の全集が完成することから、今後はこれを立派に生かし、山口に伝わる鷺流狂言を正確に21世紀に伝承していきたいと思います。



兼重保さん（大殿ホタルを守る会会長、大殿）同会は、昨年3月「水環境文化賞」を受賞。

ずっと飛び続けたい

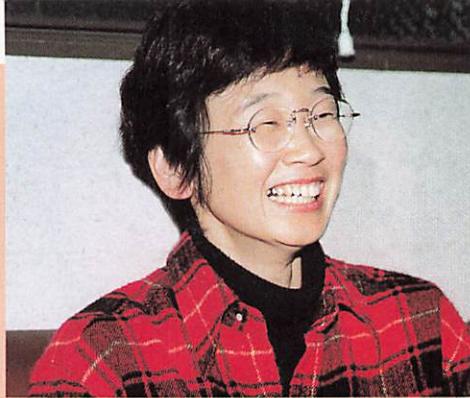
走るのが好きで、3年生の時にスポーツ少年団に入り、4年生の時に、やつてみたいと思って幅跳びを始めました。昨年、初めて全国大会に出場し、4メートル80センチの自己新記録が出せたのでうれしかったです。中学校では、陸上部に入つて、どんどん記録を伸ばしていきたいです。スポーツが大好きだから、大人になつてもスポーツ、できれば陸上を続けていきたいです。



山田英人さん（フルート演奏者、湯田）妊婦のための「ちょっと気軽にコンサート」に出演中。

バランス感覚を大切に

開催のきっかけは妻の妊娠でしたが、その前から、音楽で何か社会活動ができるだろかと思っていました。妊婦のための音楽とは、全ての人にとて、優しい音楽ということです。いろんな人がちょっと気軽に来てみて、ここからクラシックの良さを知ってくれればうれしいです。21世紀も、音楽家に必要な自信と、努力を忘れない謙虚さをバランスよく保って、いい音色をみんなに届けたいです。



渡辺洋子さん（しくみづくり班代表、嘉川）まちづくり達人養成塾の運営、市民活動推進研究会のメンバーとして活躍。

究極のまちづくりを進めたい

まちづくり達人養成塾の卒業生でしくみづくり班を結成し、第2期の塾の運営や市民活動支援の研究会に参画してきました。誰もが住みやすく、誇りに思えるまちにしたいという究極のまちづくりへの思いは誰にも負けないつもりです。市民の意見をまちづくりに生かすしきみをつくりたいと思います。21世紀は市民がお互いに信頼し合え、自分に忠実に生きられる社会になってほしいです。



川上裕司さん（山口高校2年生、吉敷）第54回全日本学生音楽コンクール福岡大会1位。全国大会に出場。

ヴァイオリンで世界へ

5歳の時、母親の友人が弾くヴァイオリンに魅せられて、「やってみたい」と言って始めたヴァイオリン。魅力は、いろんな質の音で幅広い表現ができ、いろんな演奏ができることです。

夢は音楽の道に進むこと。漠然とした方向性しか決まってないけど、希望は世界へ。また、山口市で演奏会などが開けたらいいですね。その時は今以上に活気のあるまちになっていてほしいです。

穫して食べる喜びを体験してほしいと願い、「田んぼの学校」を7月に仁保で開講しました。開校式では水田にメダカやドジョウを放流、11月には成長した生き物の観察会を行いました。これからを担う子どもたちが、生き物とふれあう中で豊かな心を育んで欲しいと思います。21世紀は、自分で体験することで、自らが確認する「本物を求める時代」になつてほしいと思います。



佐藤登さん
(田んぼの学校・山口校長、大内) 昨年7月「田んぼの学校」を開校。

生き物とふれあい、いき物にふれあい、

子どもたちに生き物にふれあい、
自ら稻を栽培・収



林康子さん（こどもステーション山口代表、吉敷）昨年「山口おやこ劇場」を改組。

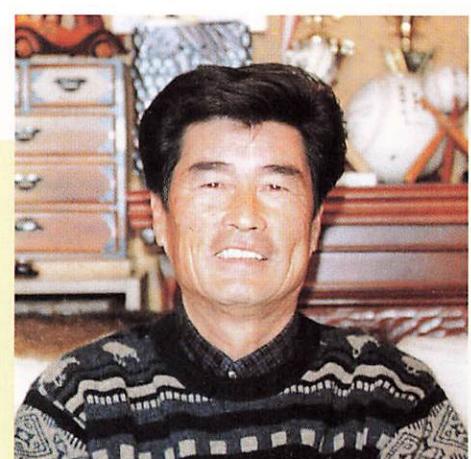
これからは、家族という単位にこだわらず、地域でみんなが何かやっていけるようになればいいと思います。

今後は、地域ぐるみでできる活動を取り入れていきたいと思

ます。また、若いお母さんの力にもなりたいで

会などを鑑賞する舞台鑑賞活動や遊びの会、キャンプなどみんなでつくる自主的活動を広げています。

豊かな体験を子どもたちに



藤井保行さん（山口野球道場代表、吉敷）道場では、硬式野球の基礎を教えている。

野球道場からプロ野球選手を

中学3年生の多くは8月に部活を引退しますが、心身ともに伸びる高校入学までが惜しいので「山口野球道場」を開設しました。道場では、夢や希望を与えて、技術向上、豊かな人間形成をめざしています。

野球以外の助け合いの心やたくましく生き抜く力をつけてやれればと思います。道場からプロ野球選手になる子が出てくれるとうれしいです。



自然体でいること

この世界では100点満点がないので、いつも試行錯誤の繰り返しです。でも、だからこそいろんなことに挑戦したり、新しいものを作り出したりできると思うんです。そこが焼物の面白いところですね。

21世紀は、もう一度萩焼の基礎に戻ってみるつもりです。そして、いつも肩ひじ張らずに自然体でいたいです。遊び心を忘れたら、自分らしい作品はできません。気持ちに余裕を持って作品に取り組んでいこうと思います。

サーフィンなどが好きで、ゲームセンターにある体感ゲームみたいにできたらと思って、強い磁力を空中に浮く「超電導サーフィン」を考えました。

今年から社会人になりますが、就職活動をする中で自分に足りないものがいろいろあることがわかりました。その足りないものを身につけて、自分で磨いていきたいと思います。

山田さゆりさん（山口県立大学国際文化学部4年生、宮野）



大和信昭さん（萩焼作家、宮野）昨年、第51回山口県芸術文化振興奨励賞を受賞。

障害を持つ子どもの親たちで、自分たちの希望する施設建設を目的に結成したウッド☆ムーン。福祉の勉強をしていく中で、地域に密着した活動の必要性に気付きました。医療、福祉、教育など制度の間で欠けている部分を埋めようと療育を取り入れた学童保育を始めました。活動のモットーは背伸びをしないこと。21世紀はどんな人の意見にもきちんと耳を傾ける社会になつてほしいです。



堅田雅子さん（山口ウッドムーンネットワーク事務局長、湯田）学齢期の障害児を対象にした平日の学童保育を実施。

きらう博で展示「超電導サーフィン」



中村智さん（山口大学工学部4年生、大殿）きらう博「未来遊具」デザイン優秀賞受賞。

地域と一緒に元気になりたい

ボランティア活動をした時間を貯蓄し、それを引き下ろしてはボランティアをしてもらう。そんな得意不得意を交換できる出会いの場として、「未来銀行」を立ち上げました。21世紀は「未来銀行」を通じて、大学生が地域中を駆けめぐり、地域の人も元気になっていってほしいです。私もいろんなことを吸収し、大きな人間になつていきたいです。

ね。デザイン募集で賞をいただいた間接照明器具はぜひ山口市館に取り入れたいです。好きな言葉は「有言実行」。これからも批評する側より、やる側にいたいですね。

小山哲彦さん（建築家、大殿）山口きらう博「山口市館」設計担当、大内塗デザイン募集で市長賞など。



「いく自然に生きうれる時代に

朗読音訳は、昭和58年、半年間の講習受講をきっかけに始めました。録音されたテープは、録音図書として県立点字図書館で貸し出されています。これまで、朗読録音した本は約180冊になりました。

「ボランティアという思いより、自分の好きな読書でお手伝いを」と、続けてきました。声と目を大切にして、これからも続けていきたいと思います。21世紀は、「優しい世の中、肩に力を入れず、ごく自然に生きられる時代」になればと思います。



坂田淑子さん（朗読音訳ボランティア、大歳）「第30回朗読録音奉仕者感謝の集い」で西日本地区表彰を受賞。

心のバリアフリーを広げたい

親の会は、言葉に問題を持つ子どもの教育や福祉の充実を願い、子どもを中心に親と先生が両輪となって親子キヤン

プなどさまざま
な活動をしてい
ます。

ハーディに比べ、
心のバリアフリー
はまだまだで

す。21世紀は心
のバリアフリー
が進み、優しい
社会になつてほ
しいと思います。
今後も一歩一歩、
地域に根づいた
活動をしていき
たいですね。



中村伸一さん
(情報サービス会社経営、吉敷)
山口県に密着した情報の充実を
図るため、y-wave.comの立ち
上げに参加。

■1月のリサイクルアイデア講座
(午前10時から正午)

パッチワーク	10(水) 20(土) 24(水)
洋服のリフォーム	11(木) 18(木) 25(木)
さき織り	11(木) 18(木) 25(木)
ネクタイでベスト、小物作り	12(金) 19(金) 26(金)
毛糸のリサイクル	12(金) 26(金)
牛乳パックで椅子作り	13(土) 27(土)
カントリー小物	13(土) 27(土)
和服のリフォーム	16(火) 23(火)
布遊び	20(土) 30(火)
あんぐるせん手芸	20(土)
カントリードール	24(水) 31(水)

*パッチワーク20(土)は、午後1時から3時
*カントリードールは、午前9時30分から正午

■おもちゃの病院

日時 1月14日(日) 午前10時から正午
※次回のフリーマーケットは3月4日

※問い合わせ 山口市リサイクルプラザ

☎ 927-7122 ☎ 927-7133



山口のんた情報(CATV)

午前7時50分(月・木・日)、午後12時50分(水・土)、午後6時20分(火・金)、午後10時20分(月・木・日)から20分間放送

○1月1日～15日 「新春対談」 (1月放送予定)

わたしたちのまち山口(TYS)

毎週日曜日、午前11時40分から放送。

○1月7日・14日 「新春市長インタビュー」

やまぐちしま専科(YAB)

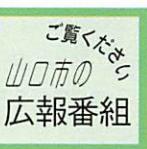
毎週水曜日、午後5時20分頃から「とれたてテレビYAB」の1コーナーで放送。

○1月10日 「家電リサイクル」

○1月17日 「ジェンダーフリー」

○1月24日 「ひょうたんづくり」

○1月31日 「栗林和彦のふるさと発見」



1月1日から老人医療制度 が改正されました

◇定率1割負担（月額上限3万7
200円）
・市町村民税非課税世帯等 月額
上限2万4600円

【外来】 ◇定率1割負担

・診療所および病院（200床未
満） 月額上限3000円
・病院（200床以上） 月額上
限5000円

※入院時の食事代の自己負担額は
一般1日780円
【老人訪問看護療養費の基本利用料】
◇定率1割負担（月額上限300
0円）または1日600円（月
5回まで）
※診療所は、定額負担（1日80
0円、同一医療機関で月4回を
上限）と定率1割負担を診療所
が選択します。

◇日時 1月7日（日）午前10時
～午後零時20分
◇場所・内容 県スポーツ文化セ
ンターレクチャールーム：式
典／県維新百年記念公園第2球
技場：検閲および観閲行進、公
開訓練、一斉放水
※当日、温かい豚汁（無料）を用
意します。

※ただし、院外処方が行われた場
合は、医療機関と薬局に右記月
額上限の2分の1の負担金をそ
れぞれ支払います。
※診療所は、定額負担（1日80
0円、同一医療機関で月4回を
上限）と定率1割負担を診療所
が選択します。

※同月内に複数の病院に入院した
場合や同一世帯等に属する複数
の老人医療受給者が入院した場
合、高額療養費が支給されます。
なお、非課税世帯等の負担金の

減免措置および高額療養費の支給
を受けるためには、市役所での申
請が必要です。
934-2803

平成13年 山口市消防出初式

やまぐち再発見⑩（表紙写真説明）
伝統的工芸品 大内塗
おおうちぬり

山口での漆工芸は、大内時代に
さかのぼり、少なくとも15世紀に
は盛んに行われていたことが古い
記録から分かります。大内氏が滅
び、山口の漆器産業は大打撃を受
けましたが、生産は続き、明治以
降に再び盛んになりました。

大内塗の代表
的工芸品である
大内人形は、大
内氏の故事にち
なんで昭和に開
発されました。
新年あけましておめでとうござ
います。今年は亥年。亥ビ年です。
ヘビは、その形状から嫌う人も多
いようですが、昔から身近な生き
物として、伝説などによく出てき
ます。市内にもヘビの登場する伝
説がいくつか残っています。
ヘビのつく言葉に「蛇足」があ
ります。あつても意味のないもの、
余計なものという意味です。市報
も蛇足にならないよう今年もがん
ばります。

編集後記



中園文化施設レストラン出店者募集

中園町に整備する文化施設の利用者等
へ、飲食のサービスを提供するため、レス
トラン出店者を募集します。

◇受付期間

1月4日（木）～31日（水）午前8時
30分～午後5時（閉店日を除く）

◇応募資格（すべてに該当する方）

- ・現在、県内で食堂、レストラン、旅館等を経営している方
- ・おおむね5年以上の経営経験を有する方
- ※次のいずれかに該当する方は応募できません。

- ・食品衛生法および風俗営業等取締法に基づく営業の禁止・停止命令および改善命令の行政処分を受けた方
- ・事業税や県民税などの税金を滞納している方

◇営業内容・条件

- ・営業品目
イタリアン・フレンチ・スペニッシュ料理などの洋食
- ・営業者負担費用

使用料、光熱水費

※厨房機器、備品等の費用負担は別途協議

・店舗規模

客席部分 約140平方メートル
厨房その他 約120平方メートル

・営業時間（詳細は協議の上決定）

おおむね午前9時～午後10時

・営業開始 平成15年10月（予定）

※応募に必要な書類は、市文化振興課
(☎934-2718)へ請求してください。